



飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和33年(1958)5月5日
 ガバナー 石黒 秀 司
 ガバナー補佐 佐久間 弘 行
 会長 菅野 浩 司
 幹事 斎藤 孝 裕

1. 例会最重点主義で、例会出席者の純増・出席率を高める。
2. 会員増強目標
3. 福島職業宣言文化
4. 青少年ショート交換事業実施への研究
5. 横断的な委員会ジョイントでの活動強化
6. ローターリ－賞への挑戦
7. ローターリ－財団への理解と活用
8. 米山記念奨学会への協力

ロータリーは機会の扉を開く
 6月はロータリー親睦活動月間
 2020-2021年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI会長 ホルガー・クナーク 事務局/〒960-0211 福島市飯坂町湯野字新湯6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 FAX(024)543-1433
 ヘルツォークトゥム・ラウエンブルグ・メルンRC (ドイツ)

通算

第31回 [3039] 例会報告 令和3年(2021) 6月 3日(木)

出席委員会報告

会員総数	39名
出席会員	27名
欠席会員	12名
出席率	69.23%

言行はこれに照らしてから 「四つのテスト」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

◆開会点鐘 菅野浩司 会長

◆国歌 ◆ロータリーソング [奉仕の理想]

◆四つのテスト 西山友幸 職業奉仕委員長

◆お客様紹介 白岩社会保険労務士 白岩裕和 様

【6月の奥様お誕生日】…♪♪♪ おめでとうございます ♪♪♪ 6月5日 服部清子 様(裕一会員)

🎵 今週の誕生日 🎵 6月4日 生田目正志 会員 6月4日 高田 薫 会員
 🎵 6月8日 菅野 浩司 会員 🎵

lunch time

◆会長の時間

福島県の非常事態宣言も解除となり、引き続き感染症対策を徹底した上で、例会は予定通り開催してきたいと思っております。本日はゲストに白岩裕和様をお迎えしての例会となります。来週からは我々の仲間に加わっていただけるものと信じておりますので、本日は楽しんでいただければと思っております。それでは、先月行われた理事会の報告ですが、次年度の委員会名簿案が村上会長エレクトより発表があり承認されました。奨学金事業の件では、李岳さんの奨学金について規定等の審議を行いました。次に、先日の地区の「会員増強についてのミーティング」にZoomで参加いたしました。年度末となり、会員増強及び維持と最後のひと踏ん張りをお願いしたいとのことでした。5月22日にZoomで開催されました、第2回職業奉仕委員会のご報告ですが、「ふくしま職業奉仕宣言」の発表がありました。この中の、**1. 例会を通して自己を磨き、「奉仕のこころ」を高めます。**という宣言は、西山職業奉仕委員長の発案が採用されたものです。本当にとても誇らしい気持ちになりました。最後に「地区のあゆみ」という直近10年間の地区誌が発刊されます。クラブでは2冊購入させていただきますが、個別に保存用として購入されたい方はお申込みをお願いいたします。



「しあわせの島(くに)ふくしま職業奉仕宣言」

- 東日本大震災の苦しみと悲しみを乗り越えて
 今、鎮魂の祈りから「奉仕の理念」に基づき
 「感謝」と「思いやり」の心で職業を通して
 世の中に貢献します。
1. 例会を通して自己を磨き、「奉仕のこころ」を高めます。
 2. 各々の職種において、職業倫理の向上と奉仕の普及に努めます。
 3. 自分の職業に誇りを持ち、積極的に価値ある行動をします。
 4. 「四つのテスト」を行動指針とし、自分自身を律します。

◆幹事報告 斎藤孝裕 幹事

- A. 月信 「ロータリーの友」6月号 「ガバナー月信」6月号 No.6
 B. 来信 ①会津分区分ガバナー補佐 渡部英一 氏より 「会津分区分インターシティーミーティング記録CD」
 C. メーキャップ報告 ところ 郡山市ビックアイ
 5/13 地区会員増強についてのミーティング 菅野浩司、村上裕司 各会員
 5/16 2021-22年度地区研修・協議会 村上裕司、生田目正志、佐藤真也、安齋忠作 各会員
 5/23 2021-22年度地区研修・協議会 村上裕司、渡邊哲也、鈴木牧子、西山友幸、堀切孝敏、佐藤喜市郎、伊堂里佳、佐藤真也、安齋忠作 各会員

◆佐藤喜市郎会員より委員会の報告

委員会報告ということで、一つには、私は米山記念奨学会の飯坂代表の委員になっておりますので、先日リモートで参加させていただきました。米山奨学会では0クラブを無くすということと、米山梅吉様のエピソードのお話もありましたが、一番大事な事は、皆様方のご理解を賜り、寄付をお願いしますということでした。もう一つ、ご報告がございます。地区誌の顧問でもある佐原パストガバナーが、6月4日にコロナでお亡くなりになりました。彼は2001-2002年度のガバナーで、お父様も1979-1980年度のガバナーでした。親子二代でのガバナーは2530地区の中でもそうあるようなことではありません。歴代のパストガバナー、皆さん立派ですが、佐原パストガバナーは特出したガバナーであったのではないかと私は思っております。皆さん、コロナを決して馬鹿にしないで、これは今後もお付き合いをしなくてはならないので、心していかなければならないと思います。



◆2021-22年度地区研修・協議会、役員・理事及び委員会の報告 村上裕司 会長エレクト

5月23日に地区研修協議会が行われましたが、担当の委員の方お疲れ様でした。この地区協議会では皆さん真剣にメモを取り、いろいろ勉強をしていただいて、ありがたく思っております。その中で、本日は白岩さんにご見学に来ていただきましたが、まさしく本当に一人でも同じ志を持った同士がいっしょにやるということで、私も頑張っていきたいと思っております。お手元に、2021-22年度の役職名簿があると思いますが、このような体制で一年間皆さんをお願いをして、頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



◆スマイリングBOX 秋葉一彦 委員 【合計67s】

菅野 浩司 会員	5 s	ゲストに白岩様をお迎えして 本日は川又会員の会員スピーチよろしくお願ひします。
佐藤喜市郎 会員	5 s	ひさしぶりの再会嬉しいです。村上エレクトロさん保護司拝命ありがとうございます。世のために尽力よろしくお願ひします。白岩さんをお迎えして
鈴木 義明 会員	5 s	この度の畠会員の春の受勲お目出度うご座居ます。
千葉 政行 会員	5 s	・皆さん久しぶりです。・川又会員スピーチ楽しみにしております。
吾妻 一夫 会員	5 s	みな様しばらくです。お元気だったでしょうか。川又さんスピーチたのしみしています。
石川 邦俊 会員	5 s	畠さん旭日双光章おめでとうございました。遅れてすみません。
鈴木 重忠 会員	5 s	ゲストに白岩様をお迎えして 川又会員スピーチ楽しみにしております。
川又 康彦 会員	5 s	つたないスピーチですがよろしくお願ひいたします。
斎藤 孝裕 会員	3 s	前回欠席お詫び 皆様、お久しぶりです。川又会員、スピーチありがとうございます。
斎藤 忠作 会員	3 s	川又会員のスピーチ楽しみにしています。
安田 正志 会員	3 s	川又会員のスピーチ楽しみにしていました。
紺野 容樹 会員	3 s	例会再開を祝して 川又会員のスピーチ楽しみにしていました。
西山 友幸 会員	3 s	川又さん、スピーチ楽しみです。
西條 博之 会員	3 s	例会再開うれしく思います。県民ショー大変楽しく拝見しました。
秋葉 一彦 会員	3 s	妻の誕生日にステキなお花をありがとうございます。川又会員のスピーチ楽しみにしております。
渡辺 賢司 会員	3 s	妻の誕生日にピンクのパラとカーネーションが届き、本人も大変喜んでおりました。ありがとうございます。
島 隆章 会員	2 s	早退おわび
渡邊 哲也 会員	1 s	川又会員のスピーチ楽しみにしています。よろしくお願ひ致します。



スマイリング報告

◆会員スピーチ 川又康彦 会員

今日はスピーチの前に、少しだけコロナのワクチンの件についてお時間をいただきたいと思ひます。福島市として、ワクチン接種に関し、5月中旬から予約が始まっておりますが、電話予約がつながりにくいということで、非常にご不便をおかけした事をお詫びしたいと思ひます。現在の予約状況ですが、65歳以上の対象者の内、概ね7割から8割位まで、予約自体は2回分完了しているのではないかとと思ひます。この数字が早いのか遅いのかというのは議論が分かれますが、7月中には65歳以上の方は全部終わるのではないかとと思ひます。あとは65歳未満の方もワクチン接種を是非早めに進めていたかできないかと経済環境が良くなってまいりませんので、こちらについては、しっかり市と頑張ってまいりますのでよろしくお願ひいたします。

それではスピーチの方ですが、今お話しをした通り、議員活動をしており、このバッチには「食肉販売」とありまして、基本は肉屋です。大方の方はご存知だと思ひますが、今日は川又食肉店の話を中心にさせていただきたいと思ひます。設立は会社になってから60年位ですが、創業自体はあと10年位で100年になります。祖父の代から店を始めましたので3代目という形になります。前はサラリーマンとして働いておりましたので、肉については全然何もわからない状況で、うちの父に色々教えてもらいました。肉屋の仕事というのは、結構技術職というところがありまして、肉について全くわからない状況で入りまして、基本的には父親に全て修行として教わりながら、これまでやってまいりました。今は部位ごとの仕入れがほとんどとなっておりますが、もともと動物の体について全然わからないままだと、美味しく切るのにどうしたらいいのかということがわからないのです。ですので、最初に肉屋がやらなくてはいけないのは、骨がついた状態で仕入れ、そこから骨を外す「脱骨」という表現をしますが、そういう作業をした上で、切り分ける事が必ず必要になってきます。今日お話をさせていただきたいと思ひますが、そこから絡んでくるのですが、猪についての話をさせていただきたいと思ひます。震災前までは、猟免許を持っている方が年に猪を数頭、鍋で美味しく食べたいので薄切りにしてくれないかと頼まれ、多少の謝礼をいただきながら骨を外して、様々な部位に切り分けスライスをして、年間それなりの数をさばいてきました。飯坂には猟友会があり、以前はかなり人数がいっぱいだったそうです。というのも、趣味で行う方が多いものですから、旅館の旦那さんが猟友会にいらっしゃいました。特に旅館の旦那さんからさばいてくれと言われたものは雉なのです。雉を持ち込まれる方が結構いらっしゃいました。農家をやられている方で、最近猪の被害が増えていると実感されている方もいらっしゃるかもしれませんが、昔だと阿武隈山地を越えて、こっちの福島の方までは猪というのはそんなに来ないというのが、20年30年前位までの定説というのか、そういったお話でした。しかし、ここ最近のご承知の通り、温暖化が非常に進行しているということも理由にあり、また、震災によって福島県内の猪については流通させる事ができなくなってしまいましたので、野放し状態に近い形となり、かなりの期間、特に浜通りの山間部を中心にずっと進んできて、こここのところ阿武隈山地どころか、山形や会津にも猪が進出して来ているという状況に現在なりつつあります。この震災をきっかけに、どんどん増加してきたというのが、私としては非常に残念な事で、なんとかしなくちゃならないのではないかとと思ひておるところです。今、県では年間2万頭位捕獲しており、福島市では大体一昨年のペースで1,800頭以上は、有害鳥獣の捕獲ということで獲っておりまして、20年30年前の猪の捕獲数と比べて、ほとんど考えられなかった数字です。特に山間部で農業をやっている方を中心に、ここ数年、非常に被害が増えてきており、何とかして欲しいと言う声が日に日に非常に強くなってきているというのが、猪に対しての私の今の実感です。先ほどもお話しをしました通り、猪をさばいてきたという経験が多少あるものから、この経験をうまく生かすというのは、なかなか正直言って難しいところではあります。こういう仕事に就かせていただいたのも多少なりとも何かの縁があるのかなという思いも持ちながら、今、イノシシ対策をどうやっていったらいいのかと日々考えております。流通し始めると、多少被害が軽減していくのではないかと期待をしているのですが、先日、福島市の議員の集まりの中で、福島大学でそういった事を研究されている小山先生という方がいらっしゃいますが、その方にお話を伺う機会があって、先生は福島県内で有害鳥獣等の研究をされておりますので、いつぐらいになったら猪を流通する段階で食べられるようになりますかと話を伺いました。そんな中で、先生のご見解を少し伺わせてくださいと言ったところ、残念ながらあと最低でも2年は無理ですというお話を頂戴いたしまして、実は調べてみると、昨年5月の段階ですが、猪を定期的にベクレルの調査を行っており、100ベクレルを超えると流通できない決まりになっていますので難しいのですが、今はそれほど高くはありませんが、猪から220ベクレルと120ベクレルという数字が出てきて、これを踏まえると、やはり難しいなというのが実感としてあります。猪が流通するまでには、少し時間がかかるのではないかとのお話でした。ちなみに、今ここを流れております摺上川ですが、鮎も一昨年まで、阿武隈川水系の釣り自体ができない状態でしたが、一昨年からは解禁となりました。ゆくゆくは、是非とも猪についても解禁という形になっていければいいなと思ひております。また、その際には私も肉屋をやっておりますので、今市内で獲っている猪が1800頭もいるわけですから、それをなんとかうちの店に持ってきていただいて、さばかせていただいて、商売につなげていければ、なおいいのかなと思ひております。その辺を期待いたしまして、ちょうどお時間となりましたので、これで私の拙いスピーチとさせていただきます。本日はご清聴ありがとうございます。

